

平成30年度支え合うきよせ委員会 平成30年度の成果

支え合うきよせ委員会
平成31年2月18日
【資料11】

部 会	項 目	取 組	平成30年度の検討内容（案）	平成30年度の成果	担当委員
本 会	ア 支え合いの仕組みづくり推進上の課題抽出と対応策の検討	1 課題の抽出・検討	<ul style="list-style-type: none"> 各部会で検討・実施した内容の共有 2層協議体立ち上げの協力 	<ul style="list-style-type: none"> 本会4回実施 A部会6回（個人情報勉強会2回、高齢者110番4回） B部会12回 第2層協議体への参加、勉強会や支え合い体験会の協力、活動にあたってのアドバイス など 	全委員
		2 生活支援コーディネーターへの応援・協力			
イ 市内各機関・個人との連携		1 市内各種団体・個人との連携・巻き込み	<ul style="list-style-type: none"> 活動を推進する為に必要な団体・個人への橋渡し ※コーディネーターにつなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> 協議体が行う活動の情報発信 生活支援COへの人の紹介 	
		2 市内各種団体・個人への橋渡し			
地域資源・ニーズ把握	ウ 地域住民への意識啓発（双方向講座・ワークショップ）	1 支え合いの仕組みづくりの啓発（市の現状と今後を伝える）	<ul style="list-style-type: none"> 地域や地縁団体、活動団体の課題把握 地域住民への意識啓発 高齢者の生活支援ニーズの調査・整理 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域団体等との意見交換会を5回実施 ⇒地域課題や生活支援ニーズの把握。協議体の活動周知。 ⇒地域課題の解決策として、介護予防や生活支援、居場所づくりの取り組みに発展。個人情報に関する勉強会の企画・実施。 ②支え合いファイル、ノートを作成 ③支え合うきよせ委員会ホームページの作成 ⇒地域の社会資源を電子化して掲載。 	内田委員 田中委員 阿久津委員 福嶋委員 田島委員 遠藤委員 名古屋委員
		2 地域や地縁団体、活動団体の課題把握			
	エ 地域の支え合いの社会資源（特に支え合い・地縁）の把握	1 各団体や各自治会の会員範囲を把握	<ul style="list-style-type: none"> ◆実施内容(例) 地域との意見交換会 意見交換会の地域へのフィードバック 支え合いノート(更新・配付) 		
		2 地区毎の資源を整理。リスト化、マッピング			
	3 高齢者の生活支援ニーズを調査、整理				
支え合いバックアップ	オ 広報	1 広報（活動広報・担い手募集）、広報ノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所・資金に関する情報収集とメニュー化 支え合い活動の担い手養成 他地域の事例等の情報収集 ◆実施内容(例) 支え合い体験会 活動場所・資金・拠点立ち上げについての情報収集 他市見学等と巻き込み（活動をしたい方への声かけ） 	<ul style="list-style-type: none"> ①支え合い体験会を2回実施 ②公共施設、市内空きスペース調査の実施 ⇒調査後、空きスペース募集を目的にチラシ配布、仕組みづくりを行う。 ③活動資金確保の方法について検討 ④生活支援団体同士の連絡会の検討 	柳原委員 星野委員 澁谷委員 近藤委員 羽田委員 村田委員 久世委員
	カ 人材育成	1 人材能力の向上、後継者育成			
	キ 支え合いのサービス創出（立上・盛り上げ・底力アップ）	1 地域から希望があった場合に、立上に協力			
		2 各地域の取り組み紹介・ノウハウ共有			
		3 プロボノ等の活用方法提供			
		4 立上のノウハウ集の作成			
	ク 活動場所・資金の創出	1 活動場所の確保・創出			
		2 活動資金の確保方法（ノウハウ、助成金提供）			
ケ 支え合いのサービス創出	1 地域から希望があった場合に、立上に協力				
	2 伴奏型支援の実施				